

# 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

京都市立上鳥羽小学校

4月17日に実施された「全国学力・学習状況調査」について結果がまとまりました。本調査は、6年生を対象に、教科（国語・算数・理科）に関する調査と同時に、家庭での過ごし方や学習時間と問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係をふまえて本校の子どもたちの状況をお伝えします。

## 総合結果（国語・算数・理科）

どの教科も全国平均を上回る結果となりました。特に、国語の「書くこと」、「読むこと」の領域では高い正答率となりました。無解答率も全国と比べて低いことから、普段から対話で問題解決を図る学習を生かし、粘り強く課題に取り組む姿勢が育っています。

## 国語科より

本校ではコミュニケーション能力の育成を目指し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めてきました。授業の中で主体的に考え、表現することのよさを実感できる場面が多いことから、「書くこと」、「読むこと」の記述式の問題がよくできていました。無解答率も全国に比べて非常に低い結果となりました。

その一方で、「言葉の変化」について複数の文章を結び付けて文章の内容を精査・解釈する問題では、全国的にも正答率は低かったのですが、本校でも課題が見られました。

また、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについての問題では全国平均よりも本校の正答率は低く、「我が国の言語文化に関する事項」については課題が見られました。

国語はすべての学習の土台です。語彙を豊かにし、言葉により考えを深めるには、対話を通して課題解決をすることや言語活動の絶対量を増やすこと、普段から読書に取り組むことが大切です。今後も、主体的な学びを支える授業改善を進めていきます。

## 算数科より

「示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を表し、計算することができる」の問題では、正答率が8割を超え、基礎的な計算を理解する力が付いてきていることがわかります。

その一方で、ブロッコリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、そのわけを書く問題では、全国的にも正答率は低かったのですが、本校でも複数のグラフから目的に合ったグラフを選び説明することに課題が見られました。また、五角形の面積を求めるために五角形を二つの図形に分割し、それぞれの図形の面積の求め方を書く問題でも課題が見られました。

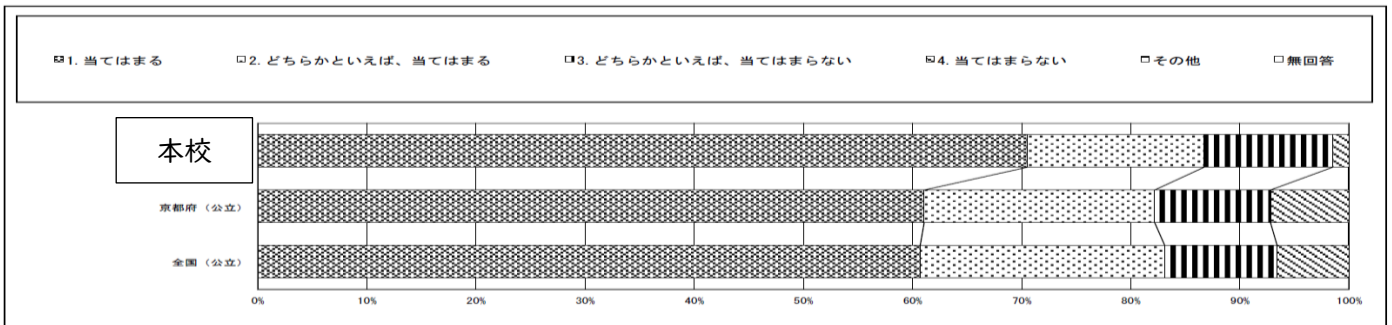
いずれもどのように思考したのかの理由を言葉や数、式を用いて記述する問題でした。算数では、知識・技能としての力はもちろんですが、それをどう活用するのかが大切です。そのためには、日常生活の中で生きている算数の場面と学びの中で出会う算数を融合することが重要です。授業の中で、算数と実生活を結び付ける活動や学びを一層、意識して取り入れていきます。

## 理科より

すべての領域において全国平均を上回る結果となりました。特に「地球」を柱とする領域での正答率が高く、問題によっては全国平均を大きく上回るものもありました。しかし、身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識を問う問題では、全国平均とともに本校の正答率も1割程度と課題が見られました。理科では見つけた問題に対して「予想」を立て、「観察・実験」をし、その結果をもとに「考察」というサイクルを繰り返し「結論」に結び付けることが大切です。今後も、そのサイクルを大切に授業改善を進めていきます。

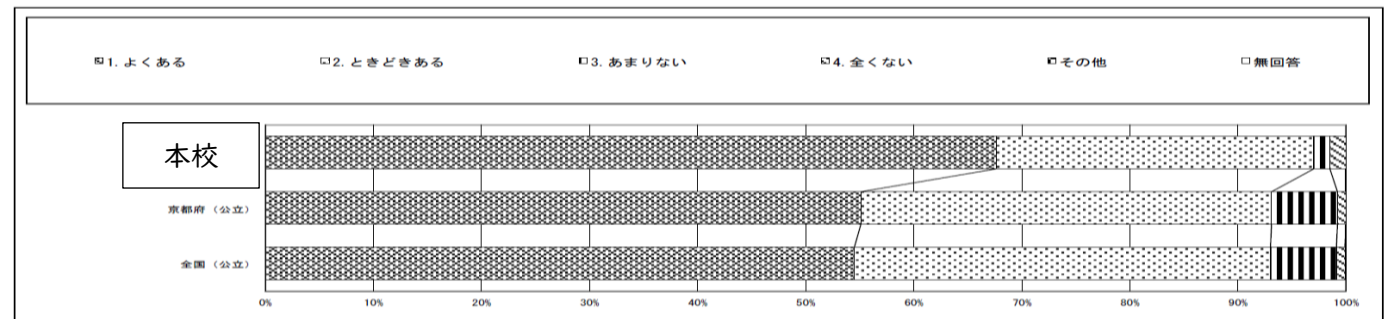
## 児童質問紙調査から

### ①将来の夢や目標を持っていますか。



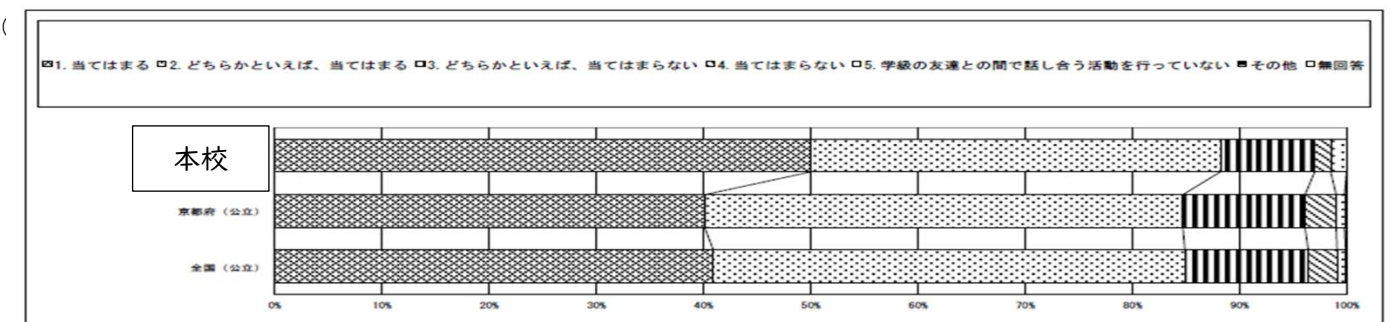
将来の夢や目標について尋ねられた際、本校では「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と答えた子どもの割合が85%を超えました。学びを通して将来について考え、そのために学び続けるという目的を理解していることがわかります。

### ②普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。



この設問では、子どもたちが今の環境に感謝し、幸せだと感じていることがうかがえます。これは物的な満足だけでは表れてきません。日々の家庭や地域での温かい関わり、学校での対話的で主体的な学びの中でこそ育っていくものであると受け止めています。

### ③学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。



本校の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の成果がうかがえます。小学校、中学校においても、この設問に「当てはまる」と回答した児童・生徒ほど平均正答率が高いという結果が見られました。

## 保護者の皆様へ

全国学力・学習状況調査は、学力実態と生活習慣から子どもの可能性を伸ばすために学校でどのような手立てや支援をしていけばよいのかを分析、改善していくためのものです。学力は机上の学習だけではなく、望ましい生活習慣や豊かな体験、人とのつながりの中で生まれ、生きて働く力として生涯、向上していきます。

本校の結果では、子どもたちが夢をもち、のびのびと学びに向かえる環境をご家庭で築いていただいていることが表れています。これからも子どもたちの健やかな成長と学びの支援にご協力をお願いいたします。